

東京文化会館音楽資料室だより vol.19



女性作曲家

~Female composers~

現代よりずっと女性が活躍しにくかった時代も、クラシック音楽の女性作曲家たちは、たくさんの美しい作品を生み出してきました。同時に「残っている資料が少ない」という事実。ここにはたくさんのドラマが秘められていそうです。その軌跡を辿ってみたいくなり、今回は19世紀の西欧のクラシック音楽界周辺の資料をご紹介します。

◆図書「女性作曲家ガイドブック2016 :古典派から近代の26人」小林緑 編著

請求記号:0.0-K792-16

18・19世紀生まれの女性作曲家26名の肖像画もしくは写真付きの略伝と参考文献、ディスコグラフィが掲載されている。本書を読んで、偶然ある作曲家に興味を湧いたら、その丁寧で豊富な掲載情報から、今までの理解と世界を広げてくれるだろう。そして更に次のステップへ、もっと詳しい資料へとつなげて導いてくれるような本。まさしくガイドブックである。女性作曲家全般に関する参考文献、女性作曲家を専門に扱っている楽譜出版社のホームページも記載されている。同著者の「女性作曲家列伝」も当室に所蔵あり。こちらも合わせて読んでみたい。

*図書「女性作曲家列伝」小林緑編著 請求記号:6.99-K792-99

バロック～日本女性、現代まで含めた女性作曲家22名について。全16章からなる。

◆雑誌「レッスンの友」2009年8月号

*特集「女性作曲家の世界～優しさ、優雅さ、芯の強さを感じる名品たち～」

石塚由紀子・川嶋ひろ子・小林恭子 執筆

人気のクララ・シューマン、「乙女の祈り」作曲のバダジェフスカ、87年の生涯で200曲以上作品を残したパリの人気作曲家セルシ・シャミナード等を紹介。専門家による解説で、実際の楽曲の譜例と共に読み進められるのが良い。また作品の生まれたエピソードや作曲家ゆかりの地の写真も添えられ、作品の世界にも入りやすい。

◆雑誌「ショパン」

*シリーズ「華麗なる世界“女流”音楽史」 船山信子 連載 1984年創刊号～1986年10月号
全16回にわたり歴史の中で女性作曲家がどのような軌跡を残したのか、その跡をたずねることを主題としている。

*シリーズ「音楽史を彩る女性たち」 萩谷由喜子 連載 2000年7月号～2002年12月号

こちらは<作曲家>に限定せず、音楽史のページに様々な角度で関わり登場した女性達を広くとりあげている。登場人物はマリア・カラス、ジョルジュ・サンド、ココ・シャネル他。人物の生き様を知る事で、作品の生まれた背景や世界観の理解度も急速に深まりそうだ。

この連載を元に書籍化された「五線譜の薔薇～音楽史を彩る女性たち～」(全2巻)も所蔵あり。

*図書「五線譜の薔薇 [1] ～音楽史を彩る女性たち～」請求記号:6.99-H123-02

*図書「五線譜の薔薇 [2] ～音楽史を彩る女性たち～」請求記号:6.99-H123-2





◆楽譜

「25 Lieder für Singstimme und Klavier = 25 songs for voice and piano」

請求記号:SE-3706 (※写真中央)

女性作曲家による歌とピアノのための作品集。全25曲掲載。収載の作曲家は以下の10名。

アンナ・アマーリア
コローナ・シュレーター
ルイーゼ・ライヒャルト
エミーリエ・ツムシュテーク
ファニー・メンデルスゾーン
ヨハンナ・キンケル
ヨゼフィーネ・ラング
ルイーゼ・アドルフ・ル・ボー
クララ・シューマン
アルマ・マラー



◆楽譜 **「19世紀パリのサロンが生んだ知っておきたいピアノ曲集」**

請求記号:CM-9845 (※写真左)

パリの社交界の中で生み出された「サロン音楽」に焦点をあてた曲集。
巻末のコラム「サロンと19世紀のフランス・ピアノ音楽」も読みごたえがある。



◆楽譜 **「Romantic piano music = Romantische Klaviermusik / Clara Schumann」**

請求記号:CM-7055 (※写真右)

*3つのロマンス (op.11)

*スケルツォ第2番ハ短調など、

クララ・シューマンの美しいピアノ曲が7作品収載されている。



◆楽譜 **「ピアノのための3つの作品 / リリ・ブーランジェ」**

請求記号:CM-6463

*古い庭園にて*明るい庭園にて*行列

リリ・ブーランジェ(1893-1918)は、作曲家、オルガン奏者、指揮者、教育家として知られる姉ナディア(1887-1979)とともに活躍し、24年の生涯で多くの作品を残した作曲家。

